

## 第3学年 道徳学習指導案

指導者 寺下 佳奈

- 1 主題名 正しいことは勇気をもって 1－（3）正義・勇気
- 2 資料名 よわむし太郎（わたしたちの道徳 小学校3・4年 文部科学省）
- 3 ねらい 正しいと判断したことは、勇気をもって行う態度を養う。

### 4 主題設定の理由

#### （1）ねらいとする道徳的価値について

人としてやってよいこと、社会通念としてしてはならないことをしっかりと区別したり、判断したりする力は、幼い時期から徹底して身に付けていくべきものである。特に価値観の多様な社会を主体的に生きる上での基礎を養うためには、よいことと悪いことの区別ができるることは大切である。

中学年の段階は、正しいことと知りつつもそのことをなかなか実行できなかつたり、悪いことと知りつつも周りに流されたり、自分の弱さに負けたりしてしまう時期でもある。正しいと判断したことは勇気をもって行い、正しくないと判断したことは勇気をもってやめる態度を育てる必要がある。

#### （2）児童の実態について

本学級の児童は、児童同士で注意しあう姿をよく見受ける。例えば、授業開始前の授業準備や、整列時の態度などである。しかし、いつも注意されている児童が決まっており、勇気をもって注意しているというものではない。また、児童同士での言い争いやけんかなどで周りの児童が「やめよう」という注意するという姿はあまりない。悪いということは分かっているが、おもしろくてつい見逃してしまうという児童が多い。

道徳の授業では、自分の気持ちを素直に書くことができる児童が約半数いるが、気持ちが全く書けない児童も数名いる。残りの児童は、ある程度の時間があれば気持ちを書くことができる。

自分の考えを発表することに対しては、全体的に消極的な傾向がみられる。資料の挿絵等を黒板に貼り、話の筋を確かめることで、資料の流れを把握して発表する児童が増えてきた。ペアやグループでの対話を促しながら、できるだけ自分の声で発表する機会を設けるようにしている。

#### （3）資料について

本資料では、よわむし太郎と呼ばれた男の勇気が描かれている。よわむし太郎は、弱虫だからという理由で、村の子どもたちにばかにされたり、いたずらをされたりしていた。しかし、よわむし太郎は、村の子どもたちが大切にしている大きな白い鳥を命をかけて守る。涙を流しながら、殿様の弓矢の前に立ちはだかったのである。よわむし太郎の勇気ある姿に心をうたれた子どもたちは、その後よわむし太郎と呼ぶことをやめる。正しいことと知りつつもそのことをなかなか実行できなかつたり、悪いことと知りつつも周りに流されたりしてしまう時期の児童にとって、よわむし太郎の勇気ある行動が描かれている本資料は、勇気をもって行う大切さを伝えることに適している。

## 5 指導にあたって

気付く段階では、今まで勇気を出して行動したことがあるか学級で話し合う。勇気は、自分のために出すときと、他人のために出すときがあることに気付かせたい。それをふまえて、資料の読み聞かせをしていく。資料を読んだ後に、資料の把握が弱い児童のため、挿絵で確認をする。

深める段階では、よわむし太郎に対する子どもたちの気持ちについて考えさせたい。勇気あるよわむし太郎の行動をみた子どもたちはどう思ったのかを問いかけ、弱虫だと思っていたけれどよわむし太郎には勇気があるのだということに気付かせていく。ここで、自分の考えが言えない児童やもてない児童もいるので、対話の時間を設けて深めていきたい。

見つめる段階では、よわむし太郎のように、誰かのために勇気をもって行動したことがあったか今までの自分を見つめる。

あたためる段階では、勇気を出すのは難しいことだと児童の気持ちを受け入れつつ、教師がそれでも勇気を出してよかつたエピソードを話すことで、勇気を出すことは難しいけれど、それでも誰かのことを考えて勇気をもって行動しようという気持ちを育んでいきたい。

### 【研究とのかかわり】

#### ・「価値について考えるための深めの発問」について

中心発問では、「弓をかまえた殿様の前に出たよわむし太郎を見て、子どもたちはどんなことを思ったかな。」と、よわむし太郎に対する子どもたちの気持ちの変化を考えさせる。そこで、よわむし太郎は弱虫ではなかったということをおさえ、さらに「勇気があるってどういうことかな」と価値である「勇気」について深く考えるようにしていきたい。

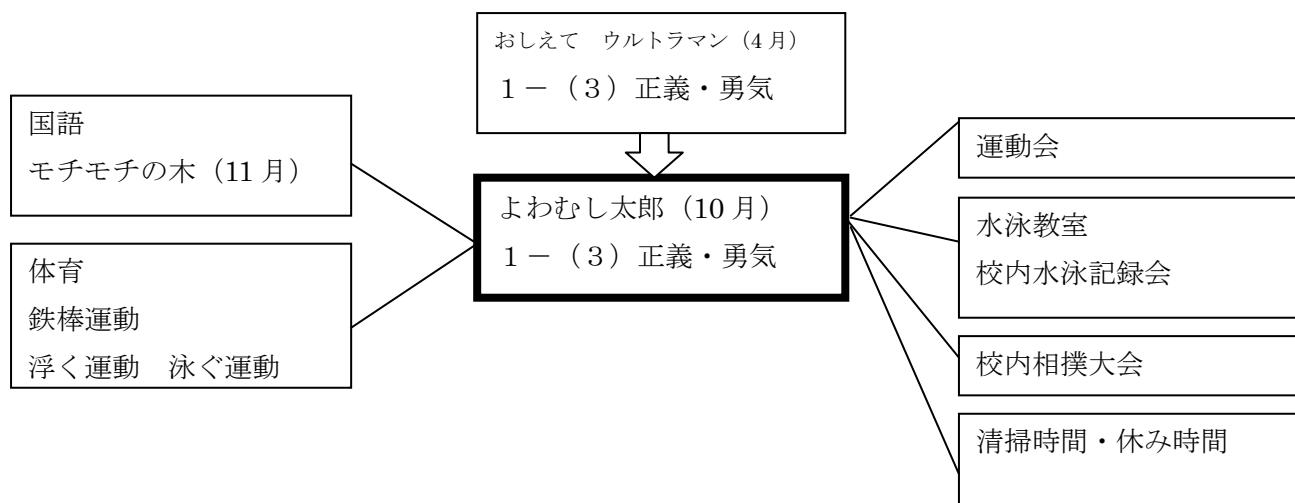
#### ・「児童同士の対話の充実」について

深めの発問など児童が少し考えるために時間を要するような場面で、ペアで話す時間をとる。そうすることで、考えられなかつた児童や、考えが不十分な児童の意見をさらに深めていきたい。

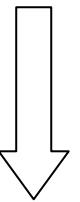
#### ・「補充・深化・統合」について

本時は、今までの活動と価値の学びをいかし、正義や勇気について今一度より深く考え、自己の関わり方を見つめる「深化」の時間とする。

## 6 他の教育活動と本時の位置付け



7 資料分析

場面	登場人物の心の動き	◎中心発問 ○基本発問	◎深めの発問
○よわむし太郎が子どもたちにいじめられているところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よわむし太郎はよわむしだ。</li> <li>・なにをしても怒らないからいたずらしてやれ。</li> <li>・「子どものことだもの、仕方ねえさ。」</li> <li>・なにを言われてもにこにこ。</li> </ul>	軽視	○よわむし太郎をいじめているときの子どもたちはどんな気持ちだったかな。
○子どもたちが白い大きな鳥を大切にしているところ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・白い大きな鳥にえさをあげると食べてくれるからうれしいな。</li> <li>・自分のあげたえさを食べているぞ。</li> </ul>		
○よわむし太郎が白い大きな鳥をとの様から守るところ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かりができなくていらっしゃる。</li> <li>・この白い大きな鳥は子どもたちが大切にしているから守らないと。</li> <li>・白い大きな鳥が撃たれたら子どもたちは悲しむだろうな。</li> <li>・とても勇気のある男だから、白い大きな鳥はどちらにしよう。</li> <li>・よわむし太郎が勇気を出して白い大きな鳥を守ってくれてうれしい。</li> <li>・よわむし太郎は弱虫なんかじゃない。</li> </ul>	驚き 思いやり 勇気	○弓をかまえたとの様の前に出たよわむし太郎を見て、子どもたちはどんなことを思ったかな。
○もう誰もよわむし太郎と呼ばなくなつたところ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よわむし太郎なんて呼ぶのはもうやめよう。</li> <li>・とっても勇気のある男だから、よわむし太郎なんて名前は合わない。</li> </ul>	 喜び 信頼	○どうして「よわむし太郎」という名前は村から消えたのかな。 ○勇気があるってどういうことかな。

## 8 本時の学習活動

(1) 準備 插絵, ワークシート

(2) 展開

過程	学習活動	<教師の働きかけ> ・予想される児童の考え方 『中心発問』での考えの類型化 ▽□◇	◎評価 ・指導上の留意点
気付く5分	1 今まで勇気を出したことがあるか話し合う。	<勇気を出して、行動したことがあるかな。> ・なかなかできない。 ・苦手な鉄棒にも勇気を出して頑張った。 ・困っている人を助けたことがある。	・勇気を出した経験を話し合うことで、資料につなげる。
深める25分	2 資料「よわむし太郎」を読んで話し合う。	<よわむし太郎をいじめているときの子どもたちはどんな気持ちだったかな。> ・よわむし太郎は、本当に弱虫だな。 ・何をしてもにこにこしているからむかつくぞ。 ・おもしろいからいじめてやろう。 <b>『弓をかまえたとの様の前に出たよわむし太郎を見て、子どもたちはどんなことを思ったかな。』</b> ▽こわくないのかな。 ▽このままじゃ、との様にうたれてしまう。 □大切にしている鳥を守ってくれてありがとう。 □僕たちのために涙を流して守ってくれてうれしい。 ◇弱虫だと思っていたのに、とても勇氣がある。 ◇今までよわむし太郎と呼んで、ごめんなさい。	・資料を読んだ後、挿絵を黒板にはりながら内容を確認する。 ・よわむし太郎ではなく、子どもたちの気持ちになって考えられるようにする。 ・白い大きな鳥を、子どもたちもよわむし太郎も大切にしていたことをおさえる。 ・ワークシートに書く。 ・児童の反応をみて、「よわむし太郎は、本当に弱虫だったのかな。」という補助発問をする。 ・ペアで対話をすることで児童の意見を深める。
見つめる10分	3 これまでの自分を見つめる。	<どうして「よわむし太郎」という名前は村から消えたのかな。> ・よわむし太郎は、弱虫じゃなかったから。 ・とても勇氣のある行動に感動したから。 <b>『勇氣があるってどういうことかな。』</b> ・だれかのために頑張ること。 ・怖いという気持ちより、相手を想う気持ちで行動すること。 <みんなは今までよわむし太郎のように誰かのために勇気を出したことがあったかな。> ・今まで、自分のために勇気を出していた。 ・勇気がなくて、困っている人を助けられなかった。	◎正しいと判断したこと は、勇気をもって行おうとしている。 (ノート) ・「誰かのために」という部分を強調し、今までと違うところに注目させる。
あたためる5分	4 学習を振り返る。	<先生の話を聞きましょう。> ・勇気を出すことでいいことがたくさんあるんだな。 ・よわむし太郎のように、強い男になりたい。 ・勇気を出して行動することは難しいけど、自分が勇気を出すことで誰かが喜んでくれたり、誰かのためになったりするのなら、これからは勇気を出して行動しよう。	

思考の深まりの順に▽□◇

(◇ 目指す児童の思い)

太字：深めの発問